

## 【大学間協定留学】留学報告書

記入日	2023 年 9 月 1 日
明治大学の所属学部・研究科	文学部 史学地理学科 アジア史専攻(イスラム史) (学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	4 年生
帰国年月日	2023 年 6 月 18 日
明治大学卒業予定年月	2024 年 4 月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	オーストラリア
留学先大学	西シドニー大学(日本語名) Western Sydney University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023 年 2 月~2023 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	2,3(授業のレベル)年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称):  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬~7 月下旬、 2 学期/9 月中旬~2 月上旬	1 学期:3 月~6 月下旬(秋学期)      2 学期:8 月~12 月(春学期) 3 学期:    ~                              4 学期:    ~
学生数	42,000 人
創立年	1989 年



留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (AUD\$)	日本円	備考
授業料		0 円	授業料負担型協定留学であったため。
宿舍費	\$562(2 週間分)	約 10 万 3000 円/月 × 4 か月 = 41 万 3000 円	留学当時は円安に悩まされた。
食費	\$300	約 27 万円	4 か月分。ほぼ自炊。食材は安かった。
図書費		2000 円	コピー使用料。
学用品費		円	特になし。
携帯・インターネット費	\$200	1 万 8000 円	国際電話かけ放題プラン。プランのグレードを一段下げればよかったと後悔。
現地交通費	\$500 程度	4 万 5000 円	大学まではシャトルバス送迎 (☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		1 万円程度/円	服は持参し、ほぼ買わなかった。
医療費		0 円	健康で良かったが歯医者関係が不安だった。
保険費		2 万円程度/円	形態:協定校での手続きで加入必須。
渡航旅費		約 14 万円	往復。帰りの分は既に予約済みだった。
ビザ申請費		約 6 万円	ビザ申請は慎重に。
雑費		約 5 万円	初期費用で必要な家具を揃えるのに存外かかってしまった。持っていった方がいい物を後述記載。
その他		15 万円	旅行費用など。エアロックとパスの 2 か所含む値段。
その他		3 万円	現地茶道教室月謝
合計		約 120 万円	当初の予算以内に収まった。今思うと、もう少し工夫すれば 100 万円以内で抑えられたかもしれない。



## 渡航関連

渡航経路
<b>往路 出発地:</b> 羽田 <b>目的地:</b> シドニー <b>経由地:</b> 直行 <b>復路 出発地:</b> シドニー <b>目的地:</b> 成田 <b>経由地:</b> 直行
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:Qantas 料金:14万7000円  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:            料金: 復路 航空会社:            料金:                    ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:        ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Qantas 公式サイト) <input type="checkbox"/> その他(            )
滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Western Sydney Village Parramatta) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 6人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
入学手続きにおける大学からの紹介。⇒そのまま申し込み。
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
共同生活となると相手の習慣(ベジタリアンなど)を尊重することが必ず求められるので、6人部屋か2人部屋など自分に合ったスタイルで慎重に部屋探しをした方がいいと思います。2人部屋は空気が直ぐになくなるので早めに予約を。終始楽しかったのですが、友達が失恋した際に1カ月ほど暗い雰囲気が共同スペースに漂っていたのには少しOh..って感じでした。それでもめちゃくちゃ楽しかったので、共同生活についてどうか心配なさないでください。多分杞憂だと思います。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし  
 あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし  
 あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

・暗い時間に治安が悪めとされる区域を一人で歩かないようにしていました。西ノニと言えども比較的危険な場所があるので、夜はむやみに出歩かない方が絶対に良いです。  
 ・犯罪に巻き込まれたことは一切ありませんでしたが、しいて言うなら留学中 AirPods を 2 回紛失しました。日本みたいに帰ってくることは無いので、もっと注意するべきでした(;▽;)

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

・寮のインターネットが終わっており、日本メールを送受信できないことが度々ありました。大学とカフェの Wifi がおすすめです。  
 ・携帯電話は国際電話かけ放題のプランにしましたが、line 電話が海外からでも無料であることを失念しており、無駄に高いプランを払ってしまったことを後悔しました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

・現地銀行口座を開設しましたが、必要な際は既に持っている UFJ の口座にオンラインで送金してもらっていました。  
 ・銀行口座は基礎書類(①パスポート②CoE のコピー控③学生ビザの控)があれば簡単に作れるのですが、滞在先住所の情報をストリートアドレスから事前に細かく控えておく必要があります。住所にてこずってタイムロスしました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

- (1) 自分に合った薬 (生理用、頭痛用、胃腸用、酔い止めなど)  
 (2) 筆記用具 (個人的にはルースリーフが大活躍しました。)  
 (3) ガイアの商品類 (現地では 100 円が 300 - 500 円になっていたの、箸など必要そうなものは事前においていいと思います。)  
 (4) オールクアグッズ。(虫歯には絶対にかかりたくない状況だったので、オールクアグッズは念入りに用意していました。)  
 (5) 化粧品 (化粧水、乳液など。1.5 倍、2 倍の値段がするけど、現地ガイアでも買えます。でもパリエーションは少ないので自分に合ったものがある程度持っていた方がいいと思います。)  
 ⇒ 基本ガイアがあるので手に入らない物はあまりありませんが、想像以上に現地の価格が高いので安価な消耗品をある程度日本で揃えておいてもいいと思います。

★逆に要らなかったもの

・コスメ: ほぼすっぴんで過ごしていました。想像以上に使わなくて逆に重りになりました。  
 お気に入りの主力コスメだけでよかったと個人的には後悔しました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

×

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
8 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:書類不備)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:履修上限(下限)は 4 コマ。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction of International Business	国際ビジネス入門(意識)
科目設置学部・研究科	BUSM1015
履修期間	3 月—6 月上旬
単位数	10point
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	普通の講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Felicitas Evangelista
授業内容	グローバルなビジネスを行う上で注目すべき地域の特性や商習慣について学ぶ。 (例:「日本で事業を展開する上で着目すべき日本人の国民性は?」といったようなトピックを取り扱う。)
試験・課題など	中間・期末試験・グループでのプレゼンテーション・小テスト
感想を自由記入	国際的な舞台上で活躍したいと思い始めていた上で受講した授業であったため、毎回とても積極的にクラスに参加することができた。私一人しかクラスに日本人が居なかったため、意見を求められた際にちゃんと答えられるよう予習の際に日本のビジネスについて下調べをしていた。年齢や国籍を問わず多種多様なバックグラウンドを持つ生徒が参加していたため、授業内で様々な意見を聞いたことが純粋に面白かった。プレゼン発表も楽しかった!) 受講おすすめてです:)



履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Sustainability and Development			
科目設置学部・研究科	HUMN1015(授業コード)		
履修期間	3月—6月上旬		
単位数	10 point (日本の大学の2単位相当)		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	普通の講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Julie Wen		
授業内容	豪州及び各国のSDGsに対する取り組みを理論的に学ぶ。 (例: 囚人のジレンマに基づく各国の環境政策の進捗を議論する等)		
試験・課題など	中間エッセイ・期末エッセイ・小テスト・プレゼンテーション		
感想を自由記入	豪州の環境問題(森林火災・インフラ課題・海洋汚染問題)に対する取り組みを直に学べた授業。「環境問題」の定義といった初歩的な部分から持続可能な開発について見つめ直すことがテーマ。難しい内容も度々あったが、予習・復習を念入りに行ったので何とか授業についていけた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Islam: past ad Future		イスラム史入門	
科目設置学部・研究科	HUMN1061		
履修期間	3月—6月上旬		
単位数	10point		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	Vassilios Adrahtas		
授業内容	イスラム教に関する入門編のような授業。		
試験・課題など	中間エッセイ・期末エッセイ。		
感想を自由記入	一番きつかった授業。内容は一年生の頃に受けたゼミの授業とさほど変わらなかったのだが、教授個人の考え方や解釈を中心とした授業であったため、個人の思想を解釈して落とし込むことにとても労力がかかった。また予習のリーディング課題の量がとても多く、泣きそうになりながら意味を調べて課題に取り組んでいた。しかし、今まで日本国内のイスラム史ゼミの授業では、イスラム教徒の方と直接お話をする機会を得られていなかったため、シドニーで多くのイスラム教徒の方の考えに触れることができた経験はとても有意義であった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Asia in the world	世界の中のアジア
科目設置学部・研究科	CULT1001(授業コード)
履修期間	3月—6月上旬
単位数	10point
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	普通の講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が1回
担当教授	Karen Entwistle
授業内容	古代から近代までアジア地域全体に関する歴史を幅広く学んでいく。
試験・課題など	中間エッセイ・期末エッセイ
感想を自由記入	やはり歴史史観は国ごとに大きく異なるため、オーストラリアの教授の視点から日本やアジアの歴史を学ぶことができたことは地理史学科所属の自分としてはとても良い経験になった。明治大学ではほぼ同じテーマを取り扱う授業を受講していたが、同じ出来事を異なる視点で解釈、解説していたことがとても興味深かった。難易度は易しかったため受講おすすめ。)



## 卒業後の進路について

<b>1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
<b>2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など</b>
マイナビ就職国際派、CFN
<b>3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。</b>
<b>4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。</b>
東京サマキャリアフォーラム、大阪(京都)サマキャリア、ホスキヤリなど留学生を対象とした就活イベントに積極的に参加してみた方がいいと思います。特に東京夏キャリア、冬キャリアは留学前に参加して、グローバルに活躍できる企業を事前に見つける場として活用できる絶好のイベントだと思います。また来年もシドニーで CFN 関連の選考イベントが開催される可能性もあるので、現地でも是非参加されると良いかと思われます。)
<b>5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。</b>
<b>6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。</b>
<b>7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。</b>

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	冬インター参加。3月春休み以降、本格的に TOEFL 対策を始める。
	4月～7月	6月下旬 TOEFL 受験。2回受験。
	8月～9月	交換留学生選考の面接。4年次での留学であったため既に卒論を大幅執筆。
	10月～12月	協定校における留学手続き開始。11月頃には学生寮の予約。
留学開始年	1月～3月	2月中旬出国。2,3月は学期前準備。4月下旬頃に中間試験。
	4月～7月	6月末期末試験。6月中旬帰国。
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

### (1) 留学出発前の後悔について

留学出発前の最大の後悔は「大学 1 年生の時間を完全に無駄にして、協定校の選択肢を大幅に狭めてしまったこと」でした。私は大学入学当初から留学を目標にしていたわけでは決してなく、大学 2 年の 9 月に留学という目標を始めて立てました。大学 1 年生の頃の私は、コロナ禍により上京できず、オンラインでの練習にモチベーションを保てなかったことを理由に部活を退部してしまい、毎日無気力な生活を送っていました。(2020 年唯一の成果は合宿での運転免許の取得でした笑) なので、いざ 2 年秋(2022)から留学を決意しても、当時の英語力や文学部の規定などを踏まえ、結局 1 年間近くを留学準備に要してしまい、4 年次春出発(2023)での留学というタイミングしか選べない状況になってしまいました。私は留学を意識した当初、トルコやアメリカ、カナダといった国々を夢見ていましたが、2020 年の負債が仇となり、2023 年春出発の英語圏という条件では、オーストラリアが唯一残された選択肢となってしまいました。結果として、オーストラリアという国は最高でしたし、そこでしか出会えない多くの人との縁を結べました。しかし、もし 2020 年に留学という目標を早めに立て、語学の勉強をしていれば、オンライン授業を流し見せず、真剣に取り組み 1 点代であった GPA をもつとつと上げていれば、といった後悔をふと今でも思い浮かべることがあります。全てはタイミングだし、どうしようもないと分かっている、私は 2020 年の過ごし方を今でも悔しく思っています。簡潔に、何をお伝えしたいかという、もし留学という目標を見つけれられたのなら、どうかその達成のためにご自身の大学生生活を逆算して毎日を過ごして欲してください。

特に私のような、英語があまり得意ではない方にとっては、留学の達成には人一倍の胆力が必要とされると思われます。それでも、しっかり逆算した計画を練り、毎日語学学習を継続していけば、必ず出願条件の語学スコアにも届くので、どうかめげずにご自身の道を歩まれてください。継続すれば語学は必ず伸びます!TOEIC300 点代から TOEIC840 点代まで伸ばせた私が保証します!留学という長期目標を叶えるうえで、辛いこともあるかもしれませんが、ご自身の叶えたいビジョンをどうか忘れずに前向きに取り組まれてください。

また、留学に限らずに、旅行でも趣味でもサークルでも、なんでも良いので、どうか色々な事にチャレンジして大学生活を楽しんでください。4 年間を使えば、大抵なんでもできます:) 選びきれないほどの選択肢が目の前にあることを忘れずに、興味のあるもの全てにトライしてみて欲しいなと、一人の大学 4 年生としては思います。

### (2) 留学を経ての後悔について

留学前はインターンシップやボランティアなど、時間が許す限り現地でありたいことをしようと意気込んでいました。

しかし、結局は授業、オンライン就活、友人や趣味の時間でいっぱいになり、それらは一つも実現できず、気が付くと日本への帰路へついていました。留学のために大学 2 年の 9 月から準備してきたのに、いざ始まると本当にあっという間の時間でした。勿論楽しくはあったけれど、自分が思い描いていた留学とはギャップのある結果になったと今では思います。なので、留学前だけではなく、留学中も常に自分が本当に何をしたいのかを見つめ直しつづけることが大切だったと現在は反省しています。今もし仮にシドニー留学に戻れるとしたら、現地でも「今週達成することリスト!」などを作っておくと思います。どうか悔いのない生活を現地で送られてください。

### (3) オーストラリアという国について

たった 4 ヶ月の滞在でしたが、カルチャーギャップこそ感じて、オーストラリアで人種差別を経験したことはたった一度もありませんでした。お互いの文化や慣習を尊重し合うオーストラリア社会の雰囲気はとても心地よく、近年移住先として注目されている魅力を現地で実感しましたし、「陽気なナイスガイの多い国」という印象を持ちました。

また、登山が趣味の私にとって、オーストラリアの絶景は特に忘れられないものとなりました。リアス式海岸に位置するシドニーは大都市と大自然両方へのアクセスが良く、存分にアウトドアを楽しめる場所なので是非色々なスポットに足を運んでみてください。現地協定校が様々なツアーを開催してくれるので、参加費はかかりますが参加をおすすめしたいです。自分で申し込むよりも破格の安さで色々なアクティビティを楽しめます。個人的にはエア・スロックツアー(RedCentreAdventure)は一生忘れられない留学のハイライトとなりました。